

政務調査研究視察 報告書

平成20年3月21日

視 察 日	平成20年2月25日(月)～26日(火)	金沢市・小松市
視 察 内 容	「院内暴力対策」について	
視 察 者	鈴木豊、柴田泉	

報告者：柴田泉

金 沢 市	<p>1、金沢市の概要</p> <p>人 口 455,863 人 (平成19年12月)</p> <p>世帯数 185,674 世帯</p> <p>面 積 467.77 k m²、議員 40 名</p> <p>市政施行 1889 年 4 月</p> <p>予算額 (一般会計) 1,596 億円 (平成17年度当初)</p> <p>財政力指数 0.74</p> <p>2、院内暴力対策について</p> <p>議会事務局横山様の案内で金沢市立病院を訪問する</p> <p>(1) 金沢市立病院</p> <p>事務局次長山崎章様、看護部総括看護部長野川文子様より説明を受ける</p> <p>病院概要創立明治33年3月金沢伝染病隔離所として発足</p> <p>昭和34年8月総合病院金沢市立病院と改称し現在に至る</p> <p>診療科目は、内科、小児科、外科をはじめ18診療科を備えている</p> <p>病床は一般病床280床(人間ドッグ8床含む)、結核病床25床、感染症病床6床合計311床</p> <p>平成19年度の収益勘定は1億7,570万円の赤字経営となっている</p> <p>院内暴力について</p> <p>● 暴力が発生するには、基本的に4つのメカニズムがあり</p> <p>①緊張論</p> <p>心理的緊張の解消の手段として暴力行為に及ぶ</p> <p>②統制論</p> <p>拘束する社会的絆が弱い人間は暴力にコミットしたり反復したりする</p> <p>③文化的逸脱論</p> <p>暴力に好意的なサブカルチャーがありそれによって暴力に価値を認めることを学習した者が「価値の追求」として暴力を振るう</p> <p>④レイベリング論</p> <p>「乱暴者」「ならず者」といった烙印を付けられたものがそのラベルにふさわしい役を演じるようになる</p> <p>このことをしっかり把握して対処しないと大きな問題へ発展する</p> <p>そこで金沢市立病院では診察室の医師の机の脇に赤、黄の二色の非常ボタンを取り付けて緊急時に使用するようにして院内暴力、特に夜間緊急の時に対応している。</p> <p>黄色いボタンは警備員が診察室の外で待機、赤いボタンは診察室に入って対応する警備会社とは以内に配置に付けるよう契約している。交番への連絡は緊急事態発生のみとしている</p> <p>使用するのは年間1～2件であった</p> <p>このように院内暴力にたいして夜間勤務は2名であたり診療側で対応するのが一番で患者さんには患者の義務を守っていただくしか現状では方法はない</p> <p>院内暴力について金沢市立病院の対応についての感想</p> <p>まず、自分たちでできることから対応策を考え患者さんの患者として義務を守っていただくしか「現状の打開策はない」と、病院全体が一丸となり対応している。これは</p>
-------------	---